復興庁
Reconstruction Agency
復興・創生　その先へ

貼　り　だ　し

令和６年６月３日
復　　興　　庁

令和６年度「新しい東北」復興・創生の星顕彰の募集開始

復興庁では、震災を契機として従来から被災地が抱えてきた課題を克服し、地方創生のモデルとなる「新しい東北」を創造すべく、民間の人材・ノウハウ等を最大限に活用しながら、様々な取組を進めています。

その一環として、「新しい東北」の創造に向けて大きな貢献をされている個人及び団体に光を当てることにより、その活動を広く情報発信するとともに、被災地内外への普及・展開を図るために、平成 28 年度から顕彰を行っています。

今年度においても、下記のとおり、「新しい東北」復興・創生の星顕彰として、この一年間に活動された個人及び団体を自薦・他薦を問わず広く募集し、外部有識者等による選定を経て、被顕彰者を決定します。

なお、被顕彰者への顕彰式は、２月を予定しています。

記

【スケジュール】

令和６年６月３日（月）～ ８月２日（金）	募集期間
令和７年２月（予定）	顕彰式

【添付資料】

・令和６年度「新しい東北」復興・創生の星顕彰　募集要項

【問い合わせ先】
復興庁 復興知見班　浦山
電話：０３－６３２８－０２２３

令和6年度

「新しい東北」復興・創生の星顕彰

候補者推薦募集

被災地の課題解決に挑戦する
個人や団体の推薦を募集。
優れた取組を
復興大臣が顕彰します。

推薦期間
令和6年
6月3日（月）
8月2日（金）

推薦要項

主旨

復興庁では、復興を単なる原状復帰にとどめるのではなく、震災を契機として、従来から被災地が抱えてきた課題を克服し、地方創生のモデルとなる「新しい東北」を創造すべく、民間の人材・ノウハウ等を最大限活用しながら、様々な取組を進めています。
この一環として、「新しい東北」の創造に向けた取組について、大きな貢献をされている個人及び団体に光を当てることにより、その活動を広く情報発信するとともに、被災地内外への普及・展開を図るために平成28年度から顕彰を行っています。

推薦方法

令和6年度「新しい東北」復興・創生の星顕彰候補者薦募集ページ
(https://www.newtohoku.org/kenshou/R6suisen/index.html)
の候補者推薦フォームより推薦ください。

顕彰の発表と顕彰式

外部有識者から構成される選定委員会にて受賞者の選考を行い、結果を令和7年1月に発表予定です。
その後、令和6年度中に実施予定の顕彰式にて、受賞者に復興大臣賞として賞状と盾が授与されます。

推薦期間

令和6年6月3日(月)～8月2日(金)
(資料を郵送される場合は8月2日(金)必着)

送付先（お問い合わせ先）

「新しい東北」復興・創生の星顕彰運営事務局
「新しい東北」復興・創生の星顕彰運営事務局
（株式会社エーフォース内）
〒160-0023　東京都新宿区西新宿6-10-1 日土地西新宿ビル1F
メールアドレス： research@aforce.jp

復興庁
Reconstruction Agency
復興・創生　その先へ

推薦対象

推薦対象は「新しい東北」の創造に向けて、被災地の地域課題（被災者支援、住まいとまちの復興、協働と継承、産業・生業の再生等）を克服するために取り組む個人・団体とします。若年層による新しい取組についても積極的な推薦をお待ちしています。

被災地の地域課題を解決する取組例）

- 子どもや高齢者を含めた被災者の交流会の実施、災害公営住宅等における自治会活動の支援
- 防災集団移転事業の移転元地における賑わい創出の取組
- 産業の転換や新しい市場価値を創造する取組
- 雇用創出や若者の就業後継者育成を推進する取組
- 避難指示解除区域への帰還等に向けた生活環境整備への取組
- 震災時の記憶と教訓を生かし貴重な防災ノウハウとして地域内外に広く情報を発信する取組

※ なお、推薦対象が法令違反の容疑により逮捕され、又は逮捕を経ないで公訴を提起された場合などの不正又は不誠実な行為があった場合は表彰の対象としないことがあります。また、暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第７７号）第２条第６号に規定する暴力団員をいう者が関与している取組、暴力団の維持もしくは運営に協力しも、しくは関与する取組は、審査対象から除外します。またその旨の連絡もしませんので御了承ください。

推薦対象の条件

1 推薦される個人・団体は、次の事項を満たしている必要があります。

ア. 個人・団体は、少なくとも直近１年間（令和5年8月～令和6年7月）～において、課題に取り組むべく活動を行っており、今後も継続して活～動していく予定にしていること。

イ. ある取組に対し、複数の個人・団体が関与している場合、当該取組において、推薦する個人・団体が中心的役割を果たしていること。

ウ. ﾅﾗﾋﾞ団体は、過去に復興庁が主催する表彰・顕彰（「新しい東北」復興・創生顕彰、「新しい東北」復興・創生の星顕彰、「新しい東北」復興ビジネスコンテスト、「産業復興事例」顕彰等）により、表彰・顕彰されていないこと。

エ. 個人・団体は、国・地方公共団体及びその職員ではないこと。

2 推薦される個人・団体の取組は、次の事項を満たしている必要があります。

ア. 東日本大震災または東京電力福島第一原発事故をきっかけとして発生した課題を克服するための取組であること。

イ. 施設整備等のいわゆるハード面の取組でないこと。

選定方法

運営事務局で一次選考を行った後、外部有識者から構成される選定委員会にて二次選考を行い、受賞者を決定します。
選考は原則、提出書類による書面審査としますが、必要に応じて電話等で内容の確認をさせていただく場合があります。
受賞者には、応募の際に登録されたメールアドレス等にご連絡します。

選定基準

取組内容については以下の2つに分野を設定します。
A 被災者支援、住まいとまちの復興、協働と継承
B 産業・生業の再生
発災13年が経過した現在以下の4つの視点を重視します。

①復興の進捗に応じた課題に対応しているか。
②自立性・自走性があるか。
③全国共通の課題解決に向けた先駆性・応用可能性があるか。
④ 新規性・将来性があるか。

A・B２つの分野について、４つの視点から、選定にあたって重視する、対応されている課題やポイントを次のとおり設定して、推薦資料等をもとに総合的に選定します。

視点	分野A	分野B
①	• 心のケア・コミュニティ形成 • 移転元地等の活用 • 帰還等に向けた生活環境整備 • 震災伝承・教訓継承	• 水産加工業の振興 • 観光業の振興 • 風評対策への取組 • 福島イノベーションコースト構想の促進
②	• 人的・財政的基盤	• ビジネスモデル
③	• 関係人口の拡大地域との連携・協働、SDGs、女性活躍	• 雇用創出域内循環創出（複数企業の協働化等を含む）SDGs、女性活躍
④	• 新たな手法の導入	• 新たな研究投資新分野進出の挑戦

推薦手続

1 推薦方法

推薦は、自薦・他薦を問いません。他薦の場合は、推薦する個人・団体の同意を得るものとします。

2 提出書類等

応募に当たっては、本顕彰WEBサイトより候補者推薦書をダウンロードし、必要事項をご記入の上、事業報告書、パンフレット等の取組の内容・状況が把握できる資料を併せてご提出ください。資料は必要に応じてアップロードください。
郵送をご希望の場合は事務局まで郵便でお送りください。

● 注意事項

(1)提出書類等は返却しませんので、あらかじめ御了承ください。
(2)本顕彰に関する情報発信の一環として、マスコミ（新聞社、放送局等）に対し、受賞者の個人・団体名、取組内容を情報提供しますので、あらかじめ御了承ください。
(3)顕彰式後、「新しい東北」官民連携推進協議会ポータルサイト（https://www.newtohoku.org/index.html）などにおいて、受賞者の取組内容をより詳細に紹介するため、受賞者に対して直接取材を行うことがあります。ご協力をお願いします。
(4)審査に関する問い合わせには一切応じられません。審査結果は公表をもって代えさせていただきます。

個人情報の取り扱いについて

推薦の際に候補者推薦フォームに記載された個人情報は、本顕彰の審査及び運営に必要な範囲内で利用し、応募者の同意なく利用目的以外で利用することはありません。また「注意事項」に定める場合を除き、推薦者及び推薦された個人・団体の同意なく、第三者へ提供することはありません。

参考：復興庁による顕彰団体の情報発信等（令和5年度）

顕彰式・意見交換会の開催

WEB版事例集への掲載

広報動画の作成

復興庁Facebookでの情報発信

「新しい東北」復興・創生の星顕彰　受賞者一覧（市町村/ テーマ分類）

平成28年度～令和5年度 ※ 令和２年度までは復興・創生顕彰

県	市町村	テーマ			
		被災者支援	住まいとまちの復興	産業・生業の再生	協働と継承
岩手	釜石市	寺崎 幸季 氏（H28）	釜石〇〇会議実行委員会（H29） 三陸ひとつなぎ自然学校（H30）	釜石市甲子地区活性化協議会（R2）	夢団(R5)
	大船渡市	居場所創造プロジェクト（R元） おはなしころりん（R3）	キャッセン大船渡（R3）	wiz（H28） 三陸とれたて市場（R4）	大船渡津波伝承館（H29）
	陸前高田市		マルゴト陸前高田（H28） SET（H30）		桜ライン311（R3）
	宮古市		みやっこベース（R4）		宮古工業高等学校（H30）
	大槌町				大槌新聞社（R元）
	野田村	チーム北リアス（R2）			
	花巻市	まんまるママいわて（R2）			
	遠野市			遠野まごころネット（H29）	
	盛岡市			幸呼来Japan（R4）	
	田野畑村				体験村・たのはたネットワーク（R4）
	洋野町			北三陸ファクトリー(R5)	
宮城	気仙沼市		ペンターン女子（R元） 鹿折まちづくり協議会（R2） まるオフィス（R3）	観光チーム気仙沼（H29） インディゴ気仙沼（R3） ロスゼロ(R5)	
	石巻市	愛さんさんグループ（H29） 日本カーシェアリング協会（H29） TEDIC（H30） 石巻復興支援ネットワーク（R元） イシノマキ・ファーム（R2）	ISHINOMAKI 2.0（R元） SEAWALL CLUB(R５)	フィッシャーマン・ジャパン（H28） 巻組（R3） 木の屋石巻水産（R4）	小林 武史 氏（R2）
	山元町	ポラリス（R元）		やまもとファームみらい野（R3）	
	南三陸町	復興みなさん会（R2）			南三陸ホテル観洋（H30） 南三陸町観光協会（R4）
	女川町		小林 洋介 氏（H28）		
	仙台市	つながりデザイン・センター（H30）		ReRoots（H30） 日本航空（R2） アンデックス（R4）	
福島	南相馬市	あさがお（R2）	オムスビ（R4）	小高ワーカーズベース（H28） テラ・ラボ（R3）	
	いわき市		TATAKIAGE Japan（H28） ザ・ピープル（H29） 勿来まちづくりサポートセンター（R2）		
	双葉町	夢ふたば人（R元）		浅野撚糸(R5)	
	浪江町			Jin（H30）	
	富岡町		とみおかプラス(R5)		双葉郡未来会議（R3）
	葛尾村		葛力創造舎(R5)	かつらお胡蝶蘭（R3）	
	川内村		元気になろう福島(R5)	渡辺 正 氏（H28）	
	相双地域	精神科医療保険福祉システム（H29）			
	二本松市			がんばろう福島、農業者等の会（R元）	
	郡山市	しんせい（R元） 女子の暮らしの研究所（R2）		ふくしま逢瀬ワイナリー（H30） 孫の手(R5)	
	福島市	ビーンズふくしま（H30） 児童養護施設の子どもの健康会（R3）			
	川俣町			Smile farm（R4）	
	楢葉町		ならはみらい（R4）		
	相馬市			マルリフーズ(R5)	
	広域			高校生ふくしま食べる通信（H28）	
広域					グーグル合同会社（H28） 味の素ファンデーション（H29） きっかけ食堂（H29）
計 81 団体・個人		20 団体・個人	20 団体・個人	28 団体・個人	13 団体・個人